

## 目標達成計画

作成日: 平成 25 年 8 月 24 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	防災、避難について 今後も日頃からの訓練を継続する事。現在では、内部だけの訓練シミュレーション内容になっている。	内部だけでなく、近隣の人々との連携を訓練に取り入れていくように協力体制を整える。	日頃からご近所の方々との挨拶や交流を心がけ、ホームの存在や緊急時の協力を得られる様 働きかけていく。	12ヶ月
2	12	利用者急変時や身体機能低下等により、ホームでの対応が困難になった際に現在では随時対応となっている。	重度化やターミナルについて各職員が認識し、受け入れる体制を日頃から情報を取り入れスキルアップ。利用者や家族には入居時点で、重度化やターミナルについてホームの対応できる状況を理解し承いただく。	重度化やターミナル対応について情報を取り入れ研修を行う。重度化やターミナルについての対応指針を作成し、早い段階で利用者やご家族と話し合い意思確認を行う。	12ヶ月
3	3	運営推進会議に、利用者やご家族が参加できていない。	利用者やご家族が定期的に会議に参加いただけるように働きかけ、意見交換の場としてひろげる。	事前に会議の案内を出す事や、ホームでの催し物等にご一緒に参加いただきその流れで推進会議の場をひらく等案内の機会を増やす。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。